

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品）／インデックス型	
信託期間	無期限（2015年6月18日設定）	
運用方針	コモディティインデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として商品（コモディティ）を実質的な投資対象資産とする上場投資信託証券に投資を行い、ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース）に概ね連動する投資成果をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	コモディティインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	商品（コモディティ）を実質的な投資対象資産とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

eMAXIS+
イーマクスプラス

eMAXISプラス コモディティインデックス

第7期（決算日：2022年1月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「eMAXISプラス コモディティインデックス」は、去る1月26日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG

三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

eMAXIS専用サイト <https://emaxis.jp/>

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ商品指数 トータルリターン		投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込	み 配 金 騰 落 率	(円換算ベース)	期 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
3期(2018年1月26日)	7,800	0	△ 1.6	20,291.01	0.3	99.7	2,661
4期(2019年1月28日)	7,003	0	△10.2	18,487.74	△ 8.9	99.6	1,797
5期(2020年1月27日)	6,729	0	△ 3.9	17,949.62	△ 2.9	99.1	1,853
6期(2021年1月26日)	6,503	0	△ 3.4	17,718.21	△ 1.3	99.4	2,737
7期(2022年1月26日)	9,304	0	43.1	25,681.30	44.9	99.4	6,778

(注) ブルームバーグ商品指数トータルリターンとは、ブルームバーグ社が公表する、世界の商品（コモディティ）市況の総合的な動きを表すインデックスで、先物取引の委託証拠金等から得られる利子収入を加味したものです。「ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）」および「ブルームバーグ（Bloomberg®）」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、委託会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、eMAXISプラス コモディティインデックスを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース）は、ブルームバーグ商品指数トータルリターンをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ商品指数 トータルリターン (円換算ベース)	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率
(期 首) 2021年1月26日	円 6,503	% —	17,718.21	% 99.4
1月末	6,587	1.3	17,843.00	99.4
2月末	7,239	11.3	19,762.49	99.4
3月末	7,201	10.7	19,560.76	99.5
4月末	7,679	18.1	20,970.99	98.9
5月末	7,986	22.8	21,754.10	99.8
6月末	8,076	24.2	22,005.34	99.0
7月末	8,309	27.8	22,796.29	99.4
8月末	8,230	26.6	22,571.47	99.5
9月末	8,685	33.6	23,804.14	99.5
10月末	9,198	41.4	25,318.37	99.4
11月末	8,749	34.5	23,986.23	97.9
12月末	8,929	37.3	24,611.29	99.5
(期 末) 2022年1月26日	9,304	43.1	25,681.30	99.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

第7期：2021年1月27日～2022年1月26日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第7期首	6,503円
第7期末	9,304円
既払分配金	0円
騰落率	43.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ43.1%の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（44.9%）を1.8%下回りました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

ベンチマークに概ね連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

第7期：2021年1月27日～2022年1月26日

投資環境について

▶ 商品市況

商品市況は、概ね上昇しました。

エネルギーセクターは、2021年8月下旬に米南部に上陸したハリケーンの影響や米国の原油在庫の減少などを背景に、需給の逼迫が予想されたことなどから、上昇しました。

工業用金属セクターは、景気回復期待の高まりや環境関連投資での需要増期待などを背景に、上昇しました。

農業セクターは、産地の天候要因による収穫減観測などを背景に、上昇しました。

▶ 為替市況

為替市況は、期首に比べ2.2%の円安・ユーロ高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ eMAXISプラス コモディティインデックス

資産のほぼ全額をマザーファンドに投資したことにより、基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

- ▶ コモディティインデックスマザーファンド
ユーロ建ての上場投資信託証券（ETF）である iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF（DE）を主要投資対象とし、ベンチマーク（ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース））に概ね連動する投資成果をめざして運用を行いました。なお、組入比率は概ね高位を維持しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶ eMAXISプラス コモディティインデックス
ベンチマークとの乖離は△1.8%程度となりました。

マザーファンド保有以外の要因

ファンドの管理コスト等による影響は△0.6%程度でした。

マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は△1.2%程度でした。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

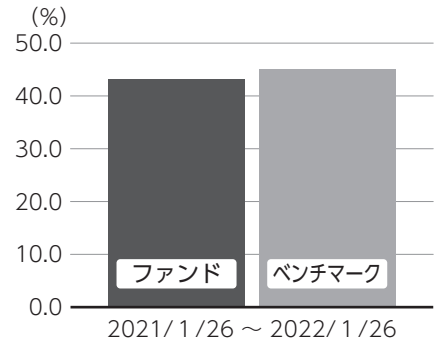
主なプラス要因：為替評価差異要因*によるものです。

*ファンドの基準価額とベンチマークで算出に用いる
為替レートが異なるため生じる要因です。

主なマイナス要因：その他要因*によるものです。

*投資先ETFの信託報酬費用などを含みます。

基準価額（ベビーファンド）と ベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第7期
	2021年1月27日～2022年1月26日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,337

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ eMAXISプラス コモディティインデックス

マザーファンドの組入比率を高位に維持し、世界の商品市況全体の値動きに概ね連動する投資成果をめざして運用する方針です。

▶ コモディティインデックスマザーファンド
ユーロ建てのETFであるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) の組入比率を高位に維持する方針です。

2021年1月27日～2022年1月26日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	36	0.440	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(16)	(0.193)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.193)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	3	0.041	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投 資 信 託 証 券)	(3)	(0.041)	
(c)その他費用	2	0.027	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	41	0.508	

期中の平均基準価額は、8,133円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

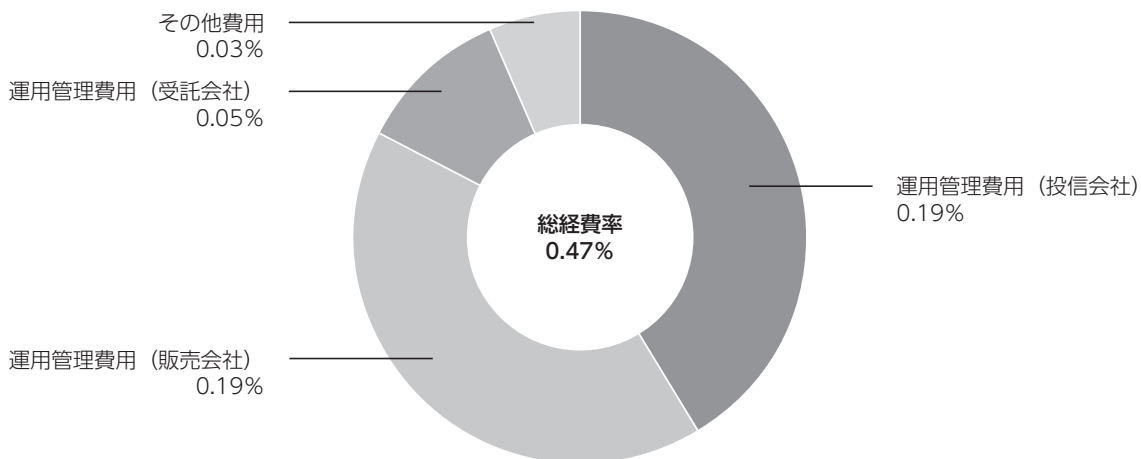
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.47%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年1月27日～2022年1月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
コモディティインデックスマザーファンド	千口 4,601,837	千円 3,931,287	千口 1,634,541	千円 1,357,443

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月27日～2022年1月26日)

利害関係人との取引状況

<eMAXISプラス コモディティインデックス>
該当事項はございません。

<コモディティインデックスマザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 3,642	% 88.6	百万円 1,323	百万円 1,180	% 89.2	

平均保有割合 80.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年1月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
コモディティインデックスマザーファンド	千口 4,105,197	千口 7,072,494	千円 6,774,742

○投資信託財産の構成

(2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コモディティインデックスマザーファンド	千円 6,774,742	% 99.0
コール・ローン等、その他	69,041	1.0
投資信託財産総額	6,843,783	100.0

(注) コモディティインデックスマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(8,097,336千円)の投資信託財産総額(8,245,049千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=128.65円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,843,783,394
コール・ローン等	69,041,391
コモディティインデックスマザーファンド(評価額)	6,774,742,003
(B) 負債	64,790,288
未払解約金	52,694,349
未払信託報酬	12,002,952
未払利息	30
その他未払費用	92,957
(C) 純資産総額(A-B)	6,778,993,106
元本	7,286,056,397
次期繰越損益金	△ 507,063,291
(D) 受益権総口数	7,286,056,397口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,304円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,209,764,911円
 期中追加設定元本額 9,894,359,505円
 期中一部解約元本額 6,818,068,019円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9304円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は507,063,291円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年1月27日～ 2022年1月26日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	833,909,820円
収益調整金額	128,041,510円
分配準備積立金額	12,471,491円
当ファンドの分配対象収益額	974,422,821円
1万口当たり収益分配対象額	1,337円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況 (2021年1月27日～2022年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,497
受取利息	80
支払利息	△ 5,577
(B) 有価証券売買損益	854,468,012
売買益	1,413,399,105
売買損	△ 558,931,093
(C) 信託報酬等	△ 20,665,010
(D) 当期損益金(A+B+C)	833,797,505
(E) 前期繰越損益金	12,463,501
(F) 追加信託差損益金	△1,353,324,297
(配当等相当額)	(128,057,101)
(売買損益相当額)	(△1,481,381,398)
(G) 計(D+E+F)	△ 507,063,291
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 507,063,291
追加信託差損益金	△1,353,324,297
(配当等相当額)	(128,041,510)
(売買損益相当額)	(△1,481,365,807)
分配準備積立金	846,381,311
繰越損益金	△ 120,305

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

コモディティインデックスマザーファンド

《第7期》決算日2022年1月26日

[計算期間：2021年1月27日～2022年1月26日]

「コモディティインデックスマザーファンド」は、1月26日に第7期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース）に概ね連動する投資成果をめざすため、主としてiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) に投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	商品（コモディティ）を実質的な投資対象資産とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ商品指数トータルリターン (円換算ベース)		投資信託証券組入比	純資産総額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
	円	%		%	%	百万円
3期(2018年1月26日)	7,890	△ 1.2	20,291.01	0.3	99.8	2,995
4期(2019年1月28日)	7,114	△ 9.8	18,487.74	△ 8.9	99.6	2,232
5期(2020年1月27日)	6,866	△ 3.5	17,949.62	△ 2.9	99.1	2,306
6期(2021年1月26日)	6,664	△ 2.9	17,718.21	△ 1.3	99.5	3,459
7期(2022年1月26日)	9,579	43.7	25,681.30	44.9	99.5	8,121

(注) ブルームバーグ商品指数トータルリターンとは、ブルームバーグ社が公表する、世界の商品（コモディティ）市況の総合的な動きを表すインデックスで、先物取引の委託証拠金等から得られる利子収入を加味したものです。「ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）」および「ブルームバーグ（Bloomberg®）」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、委託会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーグ商品指数トータルリターン（円換算ベース）は、ブルームバーグ商品指数トータルリターンをもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ商品指数 トータルリターン (円換算ベース)	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年1月26日	円 6,664	% —	17,718.21	% 99.5
1月末	6,751	1.3	17,843.00	99.5
2月末	7,422	11.4	19,762.49	99.5
3月末	7,386	10.8	19,560.76	99.6
4月末	7,879	18.2	20,970.99	98.9
5月末	8,197	23.0	21,754.10	99.9
6月末	8,293	24.4	22,005.34	99.0
7月末	8,535	28.1	22,796.29	99.5
8月末	8,458	26.9	22,571.47	99.6
9月末	8,929	34.0	23,804.14	99.5
10月末	9,460	42.0	25,318.37	99.5
11月末	9,001	35.1	23,986.23	98.0
12月末	9,190	37.9	24,611.29	99.5
(期 末) 2022年1月26日	9,579	43.7	25,681.30	99.5

(注) 騰落率は期首比。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ43.7%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(44.9%)を1.2%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

商品(コモディティ)市況が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

● 投資環境について

◎ 商品市況

商品市況は、概ね上昇しました。

- ・ エネルギーセクターは、2021年8月下旬に米南部に上陸したハリケーンの影響や米国の原油在庫の減少などを背景に、需給の逼迫が予想されたことなどから、上昇しました。
- ・ 工業用金属セクターは、景気回復期待の高まりや環境関連投資での需要増期待などを背景に、上昇しました。
- ・ 農業セクターは、産地の天候要因による収穫減観測などを背景に、上昇しました。

◎ 為替市況

- ・ 為替市況は、期首に比べ2.2%の円安・ユーロ高となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ ユーロ建ての上場投資信託証券(ETF)であるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF(DE)を主要投資対象とし、ベンチマーク(ブルームバーグ商品指数トータルリターン(円換算ベース))に概ね連動する投資成果をめざして運用を行いました。なお、組入比率は概ね高位を維持しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について

ベンチマークは44.9%の上昇になったため、カイ離は $\Delta 1.2\%$ 程度となりました。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 為替評価差異要因[※]によるものです。
※ファンドの基準価額とベンチマークで算出に用いる為替レートが異なるため生じる要因です。

(主なマイナス要因)

- ・ その他要因[※]によるものです。
※投資先ETFの信託報酬費用などを含みます。

○ 今後の運用方針

- ・ ユーロ建てのETFであるiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF(DE)の組入比率を高位に維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年1月27日～2022年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 3 (3)	% 0.040 (0.040)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.023 (0.023) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.063	
期中の平均基準価額は、8,355円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年1月27日～2022年1月26日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)	1,375	28,328	347	7,012

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月27日～2022年1月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	4,112	3,642	88.6	1,323	1,180	89.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年1月26日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ドイツ) iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)	千口 1,635	千口 2,663	千ユーロ 62,804	千円 8,079,735	% 99.5
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1 1	62,804 -	8,079,735 < 99.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ETF (上場投資信託) の概要】

ETFの直近の入手しうるアニュアルレポート等から抜粋して作成しています。

ファンド名	iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)
内 容	ブルームバーグ商品指数により表される世界の商品市況の動きに連動することをめざすETFです。
ベンチマーク	ブルームバーグ商品指数
決 算 月	3月

ETFの対象指数について

●ブルームバーグ商品指数

ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) とは、ブルームバーグ社が公表する、世界の商品 (コモディティ) 市況の総合的な動きを表すインデックスです。

「ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM)」および「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークであり、委託会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー (UBS Securities LLC) の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社 (以下「UBS」と総称します。) のいずれも、委託会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity IndexSM) に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

運用計算書はiShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE) のAnnual Report as at 31 March 2021版から抜粋して作成しています。

【運用計算書】

iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF (DE)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

ユーロ

I. 投資収入	
1. 流動性投資からの利子	-10,864.54
2. その他収益	-376,207.26
収入合計	-387,071.80
II. 費用	
1. 借入金利	-2,833.84
2. マネジメント費用	-1,461,709.91
3. その他費用	-35,314.21
費用合計	-1,499,857.96
III. 投資純(損)益	-1,886,929.76
IV. 会計処理	
1. 実現利益	250,642,016.75
2. 実現損失	-194,949,388.42
利益/損失の処理	55,692,628.33
V. 実現純利益(損失)	53,805,698.57
1. 未実現評価益の純変動	-10,923,261.77
2. 未実現評価損の純変動	18,647,738.20
VI. 未実現評価益(評価損)	7,724,476.43
VII. 純利益(損失)	61,530,175.00

マイナス金利の表示は、最新の年次財務諸表と比較して変わっています。

現在は「その他費用」ではなく「流動性投資からの利子」に含まれています。

これは、流動性投資からの利子の下に示される負の金額につながる可能性があります。

-376,207.26 EURのポジション”2. その他収益は、スワップ相手から受け取った現金担保によって生じたマイナスの金利収入から生じたものです。

【組入投資有価証券上位10銘柄】

2021年3月31日現在

銘柄	組入比率
	%
Adyen N.V. Aandelen op naam E0-,01	7.16
Volkswagen AG Vorzugsaktien o.St.o.N.	7.11
adidas AG Namens-Aktien o.N.	4.88
Allianz SE vink.Namens-Aktien o.N.	4.43
Deutsche Wohnen SE Inhaber-Aktien o.N.	4.01
Siemens AG Namens-Aktien o.N.	3.99
E.ON SE Namens-Aktien o.N.	3.60
ArcelorMittal S.A. Actions Nouvelles Nominat.oN	3.31
Koninklijke DSM N.V.Aandelen op naam E0 1,50	3.29
Siemens Energy AG Namens-Aktien o.N.	3.29

○投資信託財産の構成

(2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 8,079,735	% 98.0
コール・ローン等、その他	165,314	2.0
投資信託財産総額	8,245,049	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (8,097,336千円) の投資信託財産総額 (8,245,049千円) に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=128.65円		
---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,256,757,301
コール・ローン等	165,314,054
投資証券(評価額)	8,079,735,824
未収入金	11,707,423
(B) 負債	135,702,123
未払金	76,693,917
未払解約金	59,008,170
未払利息	36
(C) 純資産総額(A-B)	8,121,055,178
元本	8,478,174,669
次期繰越損益金	△ 357,119,491
(D) 受益権総口数	8,478,174,669口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,579円

<注記事項>

①期首元本額 5,190,647,017円
 期中追加設定元本額 5,254,612,998円
 期中一部解約元本額 1,967,085,346円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9579円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

eMAXISプラス コモディティインデックス 7,072,494,001円
 オルタナティブ資産セレクション(ラップ向け) 1,216,892,813円
 ワールド・コモディティ・オープン(ラップ向け) 122,715,649円
 三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型) 59,224,175円
 三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型) 6,848,031円
 合計 8,478,174,669円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は357,119,491円です。

○損益の状況 (2021年1月27日～2022年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 139,661
受取利息	32
支払利息	△ 139,693
(B) 有価証券売買損益	1,848,389,065
売買益	1,849,637,221
売買損	△ 1,248,156
(C) 保管費用等	△ 1,324,226
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,846,925,178
(E) 前期繰越損益金	△1,731,643,070
(F) 追加信託差損益金	△ 790,353,668
(G) 解約差損益金	317,952,069
(H) 計(D+E+F+G)	△ 357,119,491
次期繰越損益金(H)	△ 357,119,491

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。